

総合診療部

【当科でローテーションしたら-これが売り！！】

総合診療部では、受診した患者さんに診断をつけた上で適切な診療科・医療機関での専門治療へつなげる事が主な業務内容です。

2016年度実績では、約80%の患者さんが診断未確定の状態を受診しますが、最終的には当科によって診断確定、または担当診療科を確定させて終了となっています。

<当科をローテートするメリット>

1. 大学では機会の少ない『外来診療』が研修のメインとなります。どのような診療科を選択しても必要となる、『外来における患者のマネジメント』を濃密に研修できます。多様な患者を経験することができ、1ヶ月あたりの患者数はのべ47人(2019年度)です。一般病院にありがちな「数をこなして慣れる」という外来研修ではなく、「考えて理解し実践できる」ための外来診療を、指導医からマンツーマンで学びます。
2. 臨床情報から鑑別疾患を挙げ、診断を確定するための臨床推論の力を育てることに力を入れています。また、指導医や他科Dr、他院などへのコンサルテーションを行う技術も習得できます。さらに外来において、緊急性を求められる病態の見極め/対処や、そのマネジメントも経験できます。スタッフのバックグラウンドも多様ですので(プライマリーケア・血液・膠原病・腎・呼吸器・循環器・消化器・アレルギー・感染症・旅行医学・臨床検査 etc.)、気軽に色々な相談ができるのは当科ならではの環境です。
3. 経験する疾患群が非常に幅広い:「新・内科専門医制度」において経験すべき、内科系の全分野にわたる患者を経験できます。また、緩和ケア外来、感染症コンサルテーション・ICT業務と一緒に携わる事で、緩和医療、感染症治療・抗菌薬適正使用、そして感染制御についても習得できます。

【専門研修に向けて(希望者には！)】

総合診療部の患者さんは病態が複雑で、臓器横断的、総合的な診療が不可欠です。

専門分野に進んだ後に遭遇する患者さんが、自分の担当臓器の問題だけを抱えているとは限りません。

総合診療部では、臓器横断的・臨床推論に基づいた研修により、将来スペシャリストとなる皆さんにも、ジェネラリストとしての思考と問題対処の基本を習得できるよう応援します。

一般目標

日常診療で遭遇する患者に対して適切なプライマリーケアを行うために、総合診療部及び所属診療科での外来診療を実践することによって、基本的な臨床能力(態度、技能、知識)を身につける。

行動目標

1. 迅速かつ的確に患者の病態が把握できる。
2. common disease に適切な初期対応ができる。
3. 専門医に適切に紹介できる。

チェックリスト

知識：

1. 頭痛をきたす疾患の鑑別ができる。
2. 胸痛をきたす疾患の鑑別ができる。
3. 腹痛をきたす疾患の鑑別ができる。
4. 発熱をきたす疾患の鑑別ができる。
5. 痙攣をきたす疾患の鑑別ができる。
6. 意識障害をきたす疾患の鑑別ができる。
7. めまいをきたす疾患の鑑別ができる。
8. 視力障害をきたす疾患の鑑別ができる。
9. 嘔吐をきたす疾患の鑑別ができる。
10. 吐・下血をきたす疾患の鑑別ができる。
11. 下痢をきたす疾患の鑑別ができる。
12. 呼吸困難をきたす疾患の鑑別ができる。
13. 喘鳴をきたす疾患の鑑別ができる。
14. 喀血をきたす疾患の鑑別ができる。
15. 浮腫をきたす疾患の鑑別ができる。
16. 不整脈をきたす疾患の鑑別ができる。
17. 動悸をきたす疾患の鑑別ができる。
18. 血圧低下をきたす疾患の鑑別ができる。
19. 失神をきたす疾患の鑑別ができる。
20. 性器出血をきたす疾患の鑑別ができる。
21. 環境異常による病態の鑑別ができる。

技能：

1. 問診と身体所見をとることができる。
2. 必要な検査をオーダーし解釈することができる。
3. 患者への十分な説明ができる。
4. スタッフや専門医と連携をとることができる。
5. 地域診療で必要とされる予防医学・患者指導を実践できる。

研修方法

1. 問診と身体所見や検査所見から鑑別を行う。

2. 総合内科指導医の下で Common disease に対する初期治療を行う。
3. 専門診療科に頼診を行い、指導医の下で専門診療に参加する。
4. ケースカンファレンスを行う。
5. プライマリーケアに関連する実技研修を関連部門の協力を得て行う。
6. 初期研修チェックリストに従い経験症例のレポートを作成する。

指導医

植木重治, 嗟峨知生, 嗟峨亜希子, 増田豊

総合診療部ホームページ:

<https://www.med.akita-u.ac.jp/~gimclm/index.html>

総合診療部についてのご質問は,

植木 重治

e-mail : shigeh@hos.akita-u.ac.jp

TEL : 018-884-6209, FAX : 018-836-2613

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:30					外来総合受付
10:30	総合診療部 (外来)	総合診療部 (外来)	総合診療部 (外来)	総合診療部 (外来)	総合診療部 (外来)
12:00	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み
13:00	ケースカンファレンス	総合診療部 (外来)	総合診療部 (外来)	総合診療部 (外来)	総合診療部 (外来)
16:00				ICT カンファレンス	
16:00	一日のまとめとカルテ整理	一日のまとめとカルテ整理	一日のまとめとカルテ整理	一日のまとめとカルテ整理	一日のまとめとカルテ整理
17:00					

協力研修部門として、大学病院部門の看護部、感染制御部、中央検査部、化学療法部、緩和ケアセンター、相談支援センターなどがある。